

## 2022 年度 交換留学派遣学生留学報告

所属	文学部 英文学科 4年
留学先	カナダ フレーザーバレー大学

コース名	Qualifying Studies
科目名①	CMNS180 (Intro to Intercultural Communication)
授業内容・感想	異文化間コミュニケーションについて学ぶ授業。Semester全体を通して、それぞれ異文化交流を行うプロジェクトを実行しており、最後2週はその成果物のプレゼンテーションに費やされた。他の人の発表を聞くのは、異文化への知識が深まり興味深かった。また、この授業を通してこれまで急なプレゼンを多く行なっていたため、最終回の長いプレゼンにおいても大きな緊張感なく堂々とする事ができたのも、一つ自分の成長のように思う。
科目名②	MEDA110 (Digital Imaging)
授業内容・感想	Adobe の photoshop を使用してデジタルでの編集方法を学ぶ。最後2回は同じく Adobe の Substance 3D painter というアプリを使用し、3D アートの作成をおこなった。Photoshop で得た基盤があったため、特段でこずることなく新しいツールにも対応できた。
科目名③	VA113 (introduction to Drawing)
授業内容・感想	チャコールを使い、Drawing の基礎を学ぶ。最終回では、ヌードモデルを描いたり、なかなかないような経験をする事ができた。また、第3回目のプロジェクトとして、自画像を描いたが、その際大変高い評価をいただく事ができた。初めの頃はクラス内の批評で辛辣なものや触れられないこともあったが、最後には高い評価をいただくことができ、成長を実感すると同時に、留学先ならではの授業をとり、経験できたことを嬉しく思った。
留学を通して達成した事、留学で得たこと	
<p>数えたらキリがないほど、多くの学びを得ました。英語への壁が薄くなったこと、何事にも動じなくなったこと、意志を持ってそれを伝える大切さ、当たり前とっていたことが実は当たり前ではなかったこと、そして自分の挑戦は多くの人の支えがあったからこそのものであったということなど、日本にいたら見落としていた沢山の大切なことに気づくことができました。初めて留学に挑戦し、何もかも自力で打破しなければいけない環境に身を置き、初めて自分の未熟さや、恵まれていた環境を実感しました。コンフォートゾーンを抜けて飛び込んでみた世界の中で、英語力の他にも、今後の人生において大切な学びを沢山得ることができました。</p>	

## 2022 年度 交換留学派遣学生留学報告

所属	文学部 英文学科 3年
留学先	オランダ国立南大学 (ZUYD)

コース名	Oriental language and communication
科目名①	Skills line1.1
授業内容・感想	Introduction to myself を元に Presentation と約 450 字の Article を作成、さらに Culture shock をテーマに約 1500 字の Research paper を作成した。Presentation は話し方やプロフェッショナルな言葉遣い、話す早さ、スライドの作成方法の講義の後、講師がスライドと原稿を添削した。Article と Research Paper も同様に、段落の作り方とどのようなことを書くべきかを講義で受けた後にワークショップで添削とアドバイスもらった。
科目名②	Project: Presentation in IA&C
授業内容・感想	オランダに来て感じたカルチャーショックをグループで約 15 分間オランダ人の学生の前でスライドを使ってプレゼンテーションをし、質問に答えた。一人一つのトピックから三つのカルチャーショックを探し、それがホフステッドのどの理論に基づいているのかを言及しながらプレゼンテーションを作成した。
科目名③	English 1.1
授業内容・感想	留学生向けの英語の授業で Writing を中心に行った。講師からテーマを与えられ、それに沿った英語のレポートを段落ごとに構成しフィードバックをもらい、それを元に修正し、提出した。
科目名④	Theorie1.2: Internal Communication and IA&C
授業内容・感想	Kluckhohn、Hofstede、Trompenaars の文化理論を講義で学んだ後、ワークショップで国ごとにどんな文化の違いが見られるかをグループで話し合った。Internal Communication が企業で機能するためにはどんなアプローチと役割、方法が必要か、また、従業員の意欲を向上させるためのリーダーシップにはどのような種類があるのかを講義とワークショップで学んだ。日本の伝統的な文学、宗教行事、義理人情、本音と建て前、贈り物やお返しの制度、方言、ノンバーバルコミュニケーションを講義で学んだ。
留学を通して達成した事、留学で得たこと	
約一年間の留学生活を通して、人との出会いを大切に、何事も挑戦してみることを学びました。オランダ人や日本人の友達、Zuyd の先生方、寮で出会った友達、旅行先で出会った人など一年間で多くの人と関わる機会を持つことが出来、新しい考え方や勉強法、文化、食べ物を知ることが出来ました。また、初めは自分の英語力に自信がなく英語を話すことに抵抗がありましたが、間違えても大丈夫と思って話す回数を重ねるごとに自信を持って話せるようになりました。	

## 2022 年度 交換留学派遣学生留学報告

所属	文学部 英文学科 2年
留学先	マレーシア トウンクアブドゥルラーマン大学

コース名	Foundation Program
科目名①	FHEL1114 ENGLISH LANGUAGE PROFICIENCY
授業内容・感想	リスニングと文法、リーディングを学ぶ。文法は主に時制、助動詞、代名詞、関係詞、接続詞、前置詞について学ぶ。リスニングテスト、中間テスト、期末テストの他にグループで行う発表があった。グループ発表は既存の物語にアレンジを加え、効果音や背景音楽を使いながらセリフを言う劇のようなものを行った。
科目名②	FHHM1022 EFFECTIVE COMMUNICATION SKILLS
授業内容・感想	Public speaking といくつかの Communication について学ぶ。より聴衆を引きつけやすいスピーチの内容はどのようなものなのか、またスピーチの内容を決める時には聴衆のことをリサーチしておく必要があるなど準備期間で何をしたら良いのかということも学んだ。スピーチをしている最中の話し方や身振り手振りを、実際に動画を視聴しながら学んだ。中間テスト、期末テストの他に個人のプレゼンテーションとグループでのトークショーがあった。個人でのプレゼンテーションは Public speaking にあたり、自由にお題を決めパワーポイントを使用し、5分間発表を行った。グループでのトークショーでは実際にテレビ番組で行われているように司会者とゲストを決め、質問をして答えたり、ゲスト同士で質問しあったりした。
科目名③	FHEL1024 ACADEMIC ENGLISH
授業内容・感想	エッセイの書き方を学ぶ。Introduction, Topic sentence, Supporting sentence, Conclusion それぞれの段落でどのようなことを書くのか、また参考文献の正しい書き方や例文を違う単語を使って書き換えるという練習をした。中間テスト、期末テストの他に3~4人のグループで一つのエッセイを書くという課題があった。またそのエッセイについてパワーポイントを用いての発表があった。
留学を通して達成した事、留学で得たこと	
<p>留学全体を通して私は自分に自信をつけることが出来た。今までは英語を話せるようになりたいと思っても英語力に自信がなく人前で英語を話すのに恥ずかしさを感じていた。しかし英語を話さなければならないという環境になることによって英語を話すことに慣れ、多くの人と会話することによって質問の仕方やリアクションなどを学ぶことができ自信につなげることが出来た。語学力の他にも、1人で暮らしたり、旅行できたりと生活面でも自信をつけることが出来た。</p>	